

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月27日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893400036		
法人名	社会福祉法人 清河会		
事業所名	サングリーンピア大子ケアセンター (GH)	ユニット名	
所在地	〒319-3361 茨城県久慈郡大子町頃藤4144		
自己評価作成日	平成26年9月15日	評価結果 市町村受理日	平成27年4月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0893400036-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0893400036-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年11月19日	評価機関 決 済 日	平成27年3月27日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・運営推進会議で「利用者様と一緒に畑で野菜を作りたい」と相談したところ、すぐに場所を探し話を進め管理までして下さるおかげで、利用者様と一緒に野菜の収穫を楽しみ採れたて野菜を給食に提供しております。</li><li>・職員が季節の食材を持ち寄り、利用者様に下ごしらえをして頂き、匂を感じて頂いております。</li><li>・施設駐車場周辺のもち草を摘み草餅や、ふきのとうを摘んでてんぷらにするなど、自然と触れ合い四季を感じて頂いております。</li><li>・月1回以上は外出の計画をたて地元季節行事に参加し、その際は好みのメニューを自ら選択して外食を楽しんで頂いております。</li><li>・毎朝職員と一緒に利用者様好みや状況に合わせた用具を持ちフロアの掃除を行ってくださいます。</li><li>・テーブル、フロア内には常に花や鉢植えが飾って有り、利用者様が自ら水をあげて下さいます。</li></ul>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は奥久慈の自然に囲まれた環境に立地し、共用空間や居室からは四季の移り変わりを眺めることができる。</p> <p>地域の老人会の協力のもと畑を借り、利用者は野菜作りや収穫を楽しんでいる。</p> <p>交通量の多い国道118号線を目の前にしているが、日中は玄関を施錠せず、職員の見守りにより拘束のない利用者の自由な生活を支援している。</p> <p>管理者の指導のもと、職員のチームワークが良好で温かみのある雰囲気があり、利用者が穏やかに家庭的な生活ができるように支援をしている。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員が話し合い作成した「事業所理念」を、事業所の見やすい場所に掲示しております。又職員証ホルダーケースに理念を常備して各自が黙読復唱、毎月のミーティングでは全員で唱和共有して実践に繋げております。	管理者と職員で話し合い、「家庭的な雰囲気の中で」や「一人ひとりの生活空間を大切に」、「地域との関わりを大切にし」などのキーワードを含んだ地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作成し、事務所や居間兼食堂に掲示するとともに、職員証ホルダーの裏に携帯し、毎月のミーティングで唱和して、利用者一人ひとりの自立支援など、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の保育園の慰問や中学校の触れ合い体験などの受け入れや小学校や特別支援学校の発表会に出向き交流を持っております。各学校の運動会では玉手箱に参加して地元の方々との交流を持っております。地域の長寿会様の協力を得て畑をお借りして野菜作りを楽しんでおります。	天気の良い日は利用者の体調に合わせて散歩に出かけ、近隣住民と挨拶を交わすなど交流をしている。 近隣の保育園児の来訪や中学校の体験学習を受け入れているほか、利用者は小学校や特別支援学校に出向いて交流をしている。 バイオリン演奏や日舞のボランティアが定期的に来訪するとともに、地域の長寿会の協力を得て畑を借り、利用者は野菜作りや収穫を楽しんでいる。 事業所が行う花火会に地域住民が見物に訪れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等で認知症についての話題となった時には説明等を行っております。又、面会や相談にいらした方へ、認知症の症状の理解や支援法をお話させていただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会を構成し、2ヶ月に一度の会議開催時に「事業所たより」を配布して事業内容や利用者様の現状報告を行い、活発な意見交換や指導を頂き、職員会議等で話し合いながらサービスの向上に努めております。ご家族様アンケートや外部評価の内容や結果等も細やかに相談、報告しております。	運営推進会議は家族の代表や町職員、地域包括支援センター職員、老人会長、民生委員で2ヶ月に1回開催し、会議録を作成している。 会議では利用者の現状や事業所の状況報告をしたり、家族アンケートや外部評価の結果を報告するとともに、委員から出た「長寿会の協力を得て畑作りをしてはどうか」との意見を受け、話し合って実行するなど、サービスの向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月に一度の運営推進会議には市町村担当者や包括支援センターから町の介護福祉関連の情報を頂いております。又、役場窓口訪問や電話にて、ご利用者様の介護保険認定情報や利用状況報告を随時行なっております。	運営推進会議に町職員や地域包括支援センター職員が参加している。 管理者は町福祉課に出向いたり、電話で事業所の状況や待機情報を伝えるとともに、防災の取り組みについて相談したり、介護保険制度改正の情報を得たりして、協力関係を築くよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	契約時に重要事項説明書にて身体拘束の禁止についての説明を行い同意を頂いております。身体拘束マニュアルを事業所内見やすい場所に設置、内部研修を実施して身体拘束の具体的な行為の確認を行なっています。やむを得ず身体拘束を行なう場合に備えて、「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書」を準備しております。防犯のため玄関はオートロックになっておりますが、ご利用者様のご希望に添って解錠する時間を作り職員が付き添い屋外散歩や日向ぼっこなど行なっております。	身体拘束廃止マニュアルを作成するとともに、事業所内に身体拘束排除に関するポスターを掲示し、年1回内部研修を行って職員は禁止の対象となる11項目の身体拘束の具体的な行為を理解している。 止むを得ず身体拘束をしなければならない場合に備え、契約時に重要事項説明書で利用者や家族等に説明して同意を得ている。 日中は玄関を解錠し、利用者の希望にそって職員は外出に付き添ったり、玄関前の広場で外気浴をしながらシャボン玉を一緒に楽しむなどの支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内外で高齢者虐待防止法について勉強する機会を設け、職員間で共通の認識と理解を図れるよう努めてゆきます。日常の業務の中では、職員同士お互いに注意を払いながら、虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	法人内外で権利擁護について勉強する機会を設け、職員間で共通の認識と理解を深められるよう努めてゆきます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時において、重要事項説明書や契約書及び利用料金について、ご家族様やご利用者様の理解、納得が得られますよう十分な説明を行なっております。内容の変更や改定等の際には事前に文書にてお知らせするよう契約書に明記して契約時に説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族様にも参加していただき町職員、民生委員、地域住民代表の方や事業所職員との意見交換の場を作っております。年1回無記名でのアンケートを実施してご家族様の思いを汲み上げ、職員会議で話し合い運営に反映させております。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記し、契約時に家族等に説明をしている。 職員は家族等から来訪時や電話、運営推進会議で意見や要望を聴くようにしている。 年1回無記名の家族アンケートを実施して結果をまとめ、職員会議で話し合うとともに、運営推進会議で報告するなど、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は月1回の職員会議や主任会議に参加して、職員からの意見や要望を聞く機会を設けております。又、職員一人ひとりと会話出来る機会を作るよう心がけ、職員が気軽に意見を出せるよう努めております。	管理者は月1回の職員会議や主任会議、日常の会話の中で、職員の意見や要望を聞く機会を設けるとともに、職員が気軽に話しができるような関係づくりに努めている。 屋外に水道蛇口の設置や入浴が大変な利用者のためのシャワーチェアへの購入、遅番勤務者の休憩時間の設置など、職員の提案や要望を実現して運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年度自己評価シートの提出を行い、職員個々の職場環境や労働条件などに対する意見や希望を参考として、職員各自がやりがいや向上心を持って働けるよう環境や条件の整備に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が法人内外の研修に参加できるよう配慮しております。職場内研修や勉強会も随時行なっております。職場内では常に職員の活動に目を配り力量を把握して、必要な助言や指導を行なっております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人事業所の合同会議を開催して情報交換や検討会を行い、サービスの質の向上に努めております。町主催の研修会に積極的に参加してネットワーク作りに取り組んでおります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前にご本人様との面談を行い、会話の中や何気ない言葉に耳を傾けご本人様の思いを感じ取り、受け止められますよう受容と傾聴の姿勢に努めております。表情にも気を配り一つ一つに細やかな説明を行ないながら、不安が軽減でき安心して利用していただけますよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前の面談や準備段階を通して、ご家族様に不安や要望を気兼ねなくお話していただけますよう傾聴、共感しながら話しやすい環境、雰囲気作りに配慮して信頼関係の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前の面談において、ご本人様やご家族様が今必要であろうと思われるサービスを見極め、他のサービスや社会資源を必要としている場合には、情報提供などの対応に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様の個々の状態に合わせ、日常生活の中の掃除、洗濯や調理などを一緒に行う中で、長年培った生活の知恵や工夫などを教えていただき、人生の大先輩として敬いながら多くの会話や行動を共にする事で共に生活するものとしての関係を築いております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の心身の状態の変化や気付き等、細やかに連絡を取り常に情報を共有しながら支援しております。帰宅願望の強い利用者様にはご家族様から電話をして頂きご本人様が安心出来ます様、不安の多い利用者様には電話にて家族と話をしたり面会に来て頂くなどしながら家族との関係を継続して行けますよう支援しております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や知人の面会は時間制限することなく対応させて頂いております。通いなれた理美容院や主治医受診、馴染みの店での買い物等が出来ます様連絡や送迎、付き添いを行なっています。ご家族様との関係も継続できます様、ご本人様の希望時電話をかけるなどお手伝いしております。年末には直筆で年賀状を書いて頂きました。	家族等や親戚の方、利用者の知人などの来訪時には、面会時間を制限することなく話しができるように支援をしている。 職員は利用者が通い慣れたかかりつけ医への継続受診や、理・美容院への連絡、馴染みの店での買い物ができるよう、送迎や付き添いの支援に努めている。 利用者が家族等へ電話をかけることや、年賀状作りの手伝いをするなど、人や場所との関係が継続できるように支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係性を常に把握して座席の配置などにも気を配り、利用者様が孤立せず、関わりを持ちながら生活出来ます様声掛けや誘導しながら支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院で退所となった方の退院後の施設入所の為にご家族様への情報提供や病院、施設との連絡調整を行うなど支援させて頂いております。施設入所後も経過をご家族様から伺ったり、施設訪問してご本人様への面会などを行い関係性を大切にしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様お一人お一人の暮らしに対する思いや意向を把握出来ます様、基本情報や生活歴を把握するよう努めております。毎日の生活の中で発する何気ない言葉や仕草などからも思いを感じ取るよう努め、支援経過への記録や申し送りにて情報を共有するよう努めております。	職員は利用者の基本情報や生活歴から情報を収集するとともに、日々の生活の中での会話や表情から利用者の思いや意向の把握に努めている。 思いや意向を表すことが困難な利用者の場合には、表情や仕草から判断したり、家族等の来訪時に話しを聴いたりして支援経過記録に記載しているが、記録の際に色分けしたりマーカーでその個所を見易くするまでには至っていない。	利用者の思いや意向の把握がケアの原点と捉え、把握した思いや意向の記録は、色分けしたりマーカーでその個所を見易くし、全職員で共有することを期待する。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	申し込み時点から利用開始まで継続してご本人様・ご家族様への聞き取りなどで必要な情報の把握に努めております。又、他事業所との連携を図り情報収集を行い、現状に至るまでの経過等の把握に努めております。			
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活を支援させていただきながら、お一人お一人の生活のリズム表を作成して、ご自分で出来ている事、支援が必要な事柄を見極め記録して情報を共有できるよう努め、定期的に見直しを行い現状の把握に努めております。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画はご本人様、ご家族様の意向をお聞きして毎月のモニタリング表や支援経過記録を基に課題を把握して職員で話し合い作成しております。利用者様の心身の状態に変化が生じた時や必要時には見直しを行なって、現状に即した介護計画を作成するよう努めております。	介護計画は計画作成担当者が利用者や家族等の意見や要望を聴いたうえで職員で話し合っって作成し、家族等の来訪時に説明して確認を得ている。 毎月モニタリングを実施するとともに、6ヶ月又は1年毎に介護計画の見直しをしている。 利用者様の心身の状態に変化が生じた場合には、現状に即した介護計画に見直しをしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日常生活の様子や変化、気づき等は個別の生活記録へ記入し、特に重要と思われる事由は「申し送りノート」へ記入して、必ず目を通し各自確認のサインを義務づけ、職員間で情報の共有に努め実践に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様に対応が困難な時には受診同行や買い物援助など、変化するニーズに応じ柔軟な対応をさせて頂いております。ご本人様が自宅への連絡を希望された時には、電話をかけてお話を頂くなど、心身の状態に合わせ対応させて頂いております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご利用者様が毎日を安心して過ごす事が出来ます様、主治医や他医療機関、消防署等との連携を図っております。又、日常の生活が楽しみの有る豊かなものとなれます様、近隣保育園、小中学校、長寿会との交流や行事参加、ドライブやボランティア受け入れなどを行っております。近隣の休耕畑をお借りして野菜作りも行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	長年信頼関係を築いてこられた其々のかかりつけ医への受診継続を支援しております。ご家族様対応での受診を基本として受診時には日常の生活状況をお伝えしておりますが、ご家族様の都合の付かない時には受診同行して主治医との連携を図っております。その際は必ず結果をご家族様へ報告しております。	契約時に利用者や家族等に希望するかかりつけ医を確認し、個々のかかりつけ医への受診を支援している。 月1回協力医療機関への定期受診を行うとともに、協力医療機関の看護師が週1回訪問している。 かかりつけ医への受診は家族等が対応をすることを原則としているが、家族等が付き添えない場合や緊急時には職員が同行し、結果は電話などで報告をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康チェックを午前午後の二回行い、体調変動の早期発見に努めております。週1回の看護師訪問時には個々の情報提供を行っております。特に気になる状態や変化があった時には看護師へ相談をして、適切な受診や看護が受けられますよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用様が入院となった場合には、安心して治療が受けられ早期退院が出来ます様、医療機関との情報交換やカンファレンスを開催するよう支援させていただきます。状態確認の為に面会等を行います。日頃から医療機関との連携が図れますよう支援させていただきます。ご家族様が遠い利用者様の入院時の衣類洗濯の支援等も行なっております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約の段階で重要事項説明書において事業所の終末期に向けた対応を明記し、ご家族様に説明を行い同意を頂いております。又、「終末期介護マニュアル」や「重度化した場合の対応に係る指針」を作成し、職員間で話し合いを行ったり看護師による勉強会を実施して方針の共有に取り組んでおります。	重要事項説明書に事業所の終末期に向けた対応を明記するとともに、契約時に利用者や家族等に説明して同意を得ている。「重度化した場合の対応に係る指針」や「終末期介護マニュアル」を作成し、職員で話し合うとともに、看護師による勉強会を実施しているが、看取りの介護計画書や検討記録の書類を整備するまでには至っていない。	看取りを行う際の看取り介護計画書や、話し合いを行う際の検討記録の書類を整備することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用様の急変や事故発生時に備えて、AED使用方法の勉強会や看護師による緊急時の対応法やパルオキシメーター使用法などの勉強会を定期的に行なっております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	利用者様も加わって夜間を想定した避難訓練を職員全員が体験し身につけられるよう毎月計画、実施して、年1回は消防署員、車両の派遣を要請して消火訓練を実施しております。その際は運営推進会員も交えて煙疑似体験も行い協力体制を築いております。	夜間想定訓練を含む避難訓練を毎月実施するとともに、年1回消防署立会いのもと訓練を実施し、指導を受けている。避難訓練の実施記録を作成し、反省点を記録している。近隣住民に避難訓練への参加を呼びかけてはいるが、参加や協力体制を築くまでには至っていない。災害に備え、飲料水や乾パン、缶詰めを含む食料、懐中電灯、コンロ、ボンベなどを備蓄している。	引き続き運営推進会議等を通して、近隣住民に避難訓練への参加協力を呼びかけ、協力体制を整えることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員がご利用者様お一人お一人を個人として尊重し、尊厳ある声掛けや入浴や排泄関係の声掛けは耳元で声掛けを行ない、トイレの外で待つなどのプライバシーに配慮して支援しております。個人情報に関する書類は事務所内の鍵のかかるキャビネットに保管して個人情報の保護に気をつけております。	職員は利用者の人格を尊重し、言葉遣いや声かけに配慮するとともに、対応について毎月行うミーティング時に話し合いをしている。 個人情報に関する書類は事務所の鍵のかかる書棚に保管し、取り扱いには十分留意をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご利用者様と関わる機会を多く持つ事で、ご利用者様の発する言葉に耳を傾け、行動や表情にも気を配るよう努めております。入浴時にはご自分で着替えを準備できるように声掛けを行ったり、外食時のメニュー選択等可能な限り自己決定できるように働きかけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の日課は団体行動を強制することなく、お一人お一人の好みやペースに合わせて過ごしていただけますよう支援しております。食後の自室での休息やテレビ観覧、施設内散歩など、其々ご本人様のペースで過ごしていただいております。入浴もご本人様の希望にあわせ日程変更などしながら対応させていただきます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わせてご本人様の好みの衣類を着用出来ます様、ご家族様と連絡を取りながら衣類の入れ替えや整理などの支援を行っております。頭髪が伸びてきましたらご家族様と連絡を取りながら、馴染みの理美容室を利用して好みのスタイルを楽しめますよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	歩行可能なご利用様が歩行不安定なご利用様の配膳や下膳やお盆拭きを行なうなど、役割を持ち協力して頂いております。職員が同じテーブルと一緒に食事を摂り、食事の時間が楽しいものとなれます様努めております。季節行事食の提供や月1回のドライブ外食なども楽しんで頂いております。	利用者はできる範囲で職員と一緒に配膳や下膳、お盆拭きなどの役割を担うほか、時々野菜の皮むきなどの下ごしらえを行うこともある。 職員は利用者と一緒に同じテーブルに着き、見守りをしながら同じ食事を摂っている。 正月や雛祭り、敬老の日、クリスマス、夏には流しソーメンなど季節の行事食の提供や、毎月1回ドライブ外食などで、利用者の好みのものを食べに行くなど、食事が楽しみなものとなるように支援をしている。 数日前には干し柿作りを利用者と一緒に行い、出来上がる時期を心待ちにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量のご利用者様お一人お一人の好みや摂取可能量や習慣に合わせて形状も工夫しながら調整しております。疾病により状態変化の有る利用者様には状態に合わせた支援を行っております。一日を通じて、水分補給の回数を多くとり十分な水分補給に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施しております。自力歩行可能なご利用者様の中には食後に自ら洗面台へ向かう姿も見られ習慣となっております。義歯使用のご利用者様には、夕食後洗浄剤を使用して消毒を行い口腔内清潔保持、肺炎予防に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様お一人お一人の排泄パターンを記録把握し、リズムに合わせて誘導する事で、すべての利用者様がトイレでの排泄を行っております。夜間排泄回数が多いご利用者様の希望により、夜間は自室にポータブルトイレを設置、翌朝片付けをしながら出来る限り、排泄の自立に向けた支援を行っております。	職員は排泄チェック表を基に、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行って全ての利用者がトイレで排泄が出来るように支援をしている。 当初は紙おむつや紙パンツを使用していた利用者が、日中は布パンツを使用することで、おむつの使用量が減ったほか、夜間は希望により居室にポータブルトイレを配置して排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食に乳酸菌飲料を提供、ラジオ体操や健康体操を日課として身体を動かす機会を作っております。排泄管理表にて個々の管理を行なっております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご高齢者様の身体的な負担を考慮しまして、週2回の入浴となっておりますが、ご利用者様の状態や希望に応じて臨機応変に対応させていただいております。個浴となっておりますので自宅のように、ゆっくりと入浴していただけます。季節に合わせて柚子や菖蒲、入浴剤を使用したり、仲の良いご利用者様が一緒に入浴するなど入浴が楽しめますよう支援しております。	週2回午後の入浴を基本的に行っているが、利用者の状態や希望に応じて臨機応変に入浴ができるように支援をしている。 浴室の必要箇所に手摺を設置したり、シャワー椅子を配置して、利用者が安心安全に入浴ができるようにしている。 入浴を好まない利用者には、時間を空けて声かけをしたり、職員を替えたりして決して無理強いはしないようにしている。 柚子湯や菖蒲湯、林檎湯を季節に合わせて取り入れているほか、入浴剤を使用して入浴が楽しめるように支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様のご希望や体調にあわせて、居室での休息を自由にお取りいただいております。夏場の暑い時期には就寝1時間前にエアコンで適度な室温に調整、冬場は湯たんぽを準備して布団を暖めるなど、心地よく眠っていただけますよう支援しております。お酒のお好きなご利用者様への就寝前の適量の摂取も支援させて頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人お一人の服薬情報書をお預かりして個々のファイルに綴じ込み服薬状況を全職員が把握して、毎日の管理を行なっております。点眼薬に関しても漏れや重複が無い様にチェック表を作成して職員全員で管理しております。常に、個々の状態把握に気を配り、個々の状態把握に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で、掃除、洗濯干し・たたみや炊事など個々の能力に応じた役割を持った張りのある生活が送れますよう支援しております。玄関脇にベンチを設置して日向ぼっこや散歩、シャボン玉を行ったり、畑へ行き野菜の収穫をして頂くなど、楽しみを見つけ気分転換が出来ます様支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者様の希望を取り入れ、毎月外出を計画して、公用車にて職員同行で外出しております。又、近隣住民の協力を得て、畑に作った野菜を、自らの手での収穫を楽しんでおります。ご利用者様の体調に配慮しながら屋外散歩に出掛けたり、野草を摘むなど自然と触れ合っております。近隣の学校などの行事にも参加するなど地域との交流が持てますよう支援しております。	利用者の体調や天候に配慮しながら、日常的に事業所周辺の散歩に出かけ、野草を摘んだり近隣住民の支援で作った自家菜園の野菜を利用者自らが収穫をしている。 毎月外出計画を立て、事前に職員が下見のうち花見や袋田の滝観光、林檎狩りなどに出かけるほか、敬老の祝いに町から支給された商品券での買い物を支援したり、近隣の学校に招かれて訪問するなど、地域との交流ができるように支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理能力の低下してしまっているご利用者様に対してはご家族様と相談の上、事業所において金銭の管理を行ない収支報告を行なっております。金銭管理をご希望のご利用者様にはご家族様のご理解の下で、外出時の買い物などが出来ます様支援させて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様の希望に応じ、何時でもご家族様へ電話をしてお話して家族様とのつながりを感じ安心して生活していただけますよう支援しております。暮れには、ご家族様宛の年賀状を書いたいただき投函し、つながりを感じていただけますよう配慮しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は広いスペースで大きな天窓が有り、明るい空間となっており夏場はクロスをとり付け射光し、エアコンにて温度も一定に保ち心地よく過ごせる場所となっております。フロアには、観葉植物や職員が持ち寄る季節の草花を飾って季節を感じて頂いております。玄関は大きなガラスになっており、四季を彩る山々の景色が眺められるようになっており、ベンチに座り山の眺めを楽しんでいる利用者様もいらっしゃいます。	居間兼食堂は大きな天窓やガラス張りで、自然光を採り入れて明るい空間となっており、温度管理により快適に過ごせるようにしている。 居間にはソファを配置し、利用者がいつでも寛げるように配慮をしている。 共用空間には季節の花や観葉植物が飾られたり、書道や行事の写真、利用者と職員が制作した作品を掲示するなど、季節感を取り入れて居心地よく過ごせるように工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには大きなテーブルを設置して常に団欒が持てる様になっており、近くには小テーブルを配置して気の合った利用者様同士が語り合える場所も作っております。壁際にソファや、玄関にも何箇所かにベンチを置くなどして、其々の場所で自由に過ごして頂けますよう工夫しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で長年使い思い入れの有る家具家財や馴染みの品物を持ち込んでいただき、ご本人様、ご家族様好みの居室作りを支援しております。衣類や寝具も季節の変わり目に、ご家族様に入れ替えしていただいております。ご家族様やペットの写真や電気製品などを自由に持ち込んで、居心地良く過ごして頂けますよう配慮しております。	居室はベッドや収納箆筒、エアコン、照明器具、カーテンが備え付けられている。利用者は家族等と相談しながら使い慣れた寝具類や衣類、テーブル、椅子、時計などを持ち込むとともに、家族等の写真やカレンダー、手作り作品などを飾り、利用者好みの居室づくりをして居心地よく暮らせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部には手摺を設置して自立歩行、安心安全な移動・移乗が出来ます様配慮しております。施設内の段差を無くす事で車椅子使用のご利用者様も自走して自由思いのままに移動する事が出来ております。各居室には馴染の物を設置したり、入口にお気に入りの人形を飾ったりして認識できるよう支援しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 サングリーンピア大子ケアセンター

作成日 平成27年4月8日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の思いや意向の把握がケアの原点と捉え、把握した思いや意向の記録は、色分けしたりマーカーでその箇所を見やすくし、全職員で共有する事を期待する。	利用者様お一人お一人の思いや意向を全職員で共有出来ます様、記録の際にはマーカーで色分けするなどして見やすくするなど工夫します。	ご本人様の発した言葉や行為、新たな情報などはマーカーで色分けして、誰が見ても気付くようにして情報を共有してゆきます。	調査時の助言を頂いて即、取り組んでおります。
2	33	看取りを行なう際の看取り介護計画書や、話し合いを行なう際の検討記録の書類を整備する事を期待する。	看取りを行なう際の看取り介護計画書や検討記録等の必要書類を整備します。	看取りを行なっている同法人で使用している書式を参考に準備します。	6ヵ月
3	35	引き続き運営推進会議等を通して、近隣住民に避難訓練への参加呼びかけ、協力体制を整える事を期待する。	運営推進会議を通して、近隣住民の避難訓練への参加を呼びかけ、協力体制を整えるよう努めます。	今後も運営推進会議にて話し合い、協力の呼び掛け等行なってゆきます。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。